

上湧別 歴史散策

文化と交易、開墾の史

寛文元年	●松前藩士・吉田作兵衛が作成した「元禄御国絵図」に「ゆうべつ」の地名。
明治	
明治 5年	●北見4郡の村名が定められ、「ユウベツ村」が誕生。紋別戸長管下となる。
明治13年	●郡区町村制を編成、網走郡役所を設置。
明治15年	●徳弘正輝が湧別に定住。
明治17年	●湧別に郵便が設置される。
明治20年	●徳弘正輝、ナオザネ(中湧別)に移住、牛豚を飼育し、リンゴを試作。
明治25年	●湧別原野基線道路が開通。●湧別巡査派出所が設置される。●湧別郵便取扱所が設置される。
明治29年	●湧別兵村の建設工事着手。
明治30年	●湧別屯田第1陣が移住。●湧別村が紋別外9ヶ村戸長役場から分村開庁、初代戸長に小池忠吉。●屯田市街に渡辺表太の店舗開店。
明治31年	●5中隊が仮学校開設。●4中隊が仮学校を開設。●湧別屯田第2陣(第1船)が移住。●湧別屯田第2陣(第2船)が移住。●北湧尋常高等小学校を創立。●南兵村に初めてのリンゴの苗木入る。
明治34年	●網走警察署湧別分署が設置される。
明治35年	●屯田市街に郵便受取所を開設。
明治36年	●屯田兵現役解除。
明治38年	●南湧小学校の前身、南分教場を開設。●屯田市街で大火発生。
明治39年	●中湧別小学校の前進、北分教場を設置。●渚滑村、湧別村を北海道2級町村制施行地に指定(4月1日施行)。●初代村長に佐藤信吉が就任。
明治40年	●南兵村3区に私設消防組結成。
明治41年	●北湧尋常小学校新校舎の落成式挙行。

明治43年	●湧別村を分割し上湧別村を置き、湧別村を下湧別村と改称(4月1日施行)。●初代村長に兼重浦次郎就任。●富美部落が独立。●屯田市街に巡査駐在所設置。●公設上湧別消防組を設置。
大正	
大正 2年	●開盛部落が独立。●富美特別教授場の設置。●開盛特別教授場の設立。
大正 5年	●湧別軽便線の社名湧～下湧別(現、湧別間が開通)。●上湧別村議事堂が新築される。
大正 6年	●名寄線の鉄道工事、中湧別と名寄を起点に着手。
大正 7年	●中湧別市街に巡査駐在所設置。
大正 8年	●上湧別村から遠軽村が分村、現在の上湧別町の区域となる。
大正 9年	●上富美部落が富美部落から独立。●中湧別市街に郵便局開局。
大正10年	●名寄東線(後に名寄本線)の中湧別～興部間が開通。●菊地善八が南兵村1区で玉葱の栽培を開始。
大正11年	●札富美部落が北兵村1区から独立。
大正13年	●中湧別に30戸の加入電話を架設。
大正14年	●上湧別、中湧別両市街に電灯ともる。
昭和	
昭和 2年	●本多正雄宅でラジオ第1号購入。この年、上湧別に8台入る。
昭和 3年	●役場議事堂(仮庁舎)から火災発生。上湧別村役場庁舎が新築される。
昭和 4年	●富美に郵便取扱所が設置される。●上湧別商工会が結成される。

昭和 5年	●中湧別商工会が結成される。
昭和 7年	●庄田医院に上湧別最初の自動車が入る。
昭和 8年	●旭部落が北兵村3区から独立。●屯田市街地加入電話が架設される。
昭和 9年	●中湧別市街で開村以来の大火発生。●初めての消防自動車2台入る。
昭和11年	●北湧校と南湧校が統合、上湧別尋常高等小学校が創立される。
昭和13年	●上湧別村が1級町村制を施行。初代助役に川崎正雄就任(8月8日選任)。●開盛に郵便取扱所が開設される。
昭和14年	●北海道最初の組合病院「久美愛病院」が開院。
昭和17年	●上湧別村森林組合が設立される。
昭和18年	●中湧別小学校旭分教場が設置される。
昭和22年	●公選の初代村長に今野和七が当選。●上湧別村役場中湧別出張所が開設される。●中湧別市街で火災。●新学制により上湧別にも中学校が設置される。
昭和23年	●道立遠軽高校上湧別分校(定時制)が設置される。
昭和26年	●遠軽信用金庫上湧別出張所が開設される。●遠軽ハイヤー中湧別営業所が開業。●北海道銀行中湧別支店が開設される。
昭和27年	●遠軽信用金庫中湧別出張所が開設される。
昭和28年	●組合立北海道湧別高等学校の設立。●上湧別村に町制が施行され、上湧別町となる。初代町長は今野和七。
昭和29年	●五鹿山桜まつりが始まる。●第2代町長に石田勝喜が当選。
昭和31年	●湧別高等学校が道立に移管される。●私立中湧別保育所(季節保育所)が光照寺境内に設置される。
昭和32年	●消防1団3分団制に再編成される。●屯田家族会が結成される。●チューリップ耕作組合設立。●町広報第1号発行。
昭和33年	●中湧別産業会館建設。
昭和34年	●池内工業の工場建設。
昭和35年	●上湧別町体育協会設立。●町立中湧別季節保育所が設置される。●湧楽館が開館する。●町内でテレビの有線方式による共同視聴始まる。

昭和36年	●上湧別、中湧別商工会が合併し上湧別町商工会が結成される。
昭和37年	●上湧別町文化協会設立。●上湧別、中湧別市街に水銀街路灯が設置される。
昭和38年	●上湧別季節保育所が設置される。●上湧別、中湧別老人クラブが結成される。
昭和39年	●屯市北区と4の1に町内初の子ども会が結成される。●農協中湧別デパートが開店。
昭和40年	●第3代町長に渡辺要氏当選。●中湧別橋(7号線)が竣工。●上湧別橋が竣工。
昭和41年	●湧網線に大型ゾーゼルカーの運行開始。●認可保育所の中湧別保育所が設置される。
昭和42年	●町立上湧別中学校統合校舎完成。●上水道第1期工事始まる。
昭和43年	●町章と町旗が制定される。●上湧別、中湧別両市街に上水道が通水される。
昭和44年	●両湧別学校給食センターが給食を開始。
昭和45年	●町立開盛保育所が開設される。●社会福祉会館落成。●上湧別町観光協会が設立される。
昭和46年	●町民プールが完成。●青少年会館が完成。
昭和47年	●中湧別東1条通り舗装工事竣工(町内初の舗装工事)。
昭和48年	●中湧別歯科診療所が開業。●上湧別町歯科診療所が開業。●町営野球場が建設される。
昭和49年	●みのり幼稚園が開園。
昭和50年	●町営中湧別スキー場にベビーリフトと夜間照明完成。
昭和52年	●認可保育所の中湧別保育所が設置される。●上湧別厚生病院が中湧別に移転し新築落成する。●第4代町長に出倉定夫氏が当選。
昭和53年	●老人憩いの家オープン。●農村環境改善センターが落成オープン。
昭和54年	●湧愛園オープン。
昭和55年	●第1回屯田ふるさとまつりが開催される。
昭和56年	●第5代町長に佐々木義照氏が当選。●総合体育館が完成する。

昭和59年	●両湧別町上水道施設完成。
昭和60年	●五鹿山スキー場に大型リフト設置。
昭和61年	●第1回湧別原野オホーツク100kmクロスカントリースキー大会が開催される。●上富美小学校が閉校し富美小学校に統合される。●リバーサイドゴルフ場がオープンする。●生涯スポーツの町を宣言。
昭和62年	●湧網線廃止。●第1回チューリップフェアが開催される。●役場新庁舎完成。
昭和63年	●第1回七夕まつり開催。
平成	
平成元年	●名寄線廃止。
平成 2年	●オホーツク国際漫画大賞を創設。
平成 4年	●中高生国際交流派遣事業団がカナダ・アルバータ州へ出発。●上湧別イメージキャラクター「チュービット」とロゴが決定。
平成 5年	●文化センターTOMがオープン。●第6代町長に松田隆氏が当選。
平成 6年	●畑地かんがい事業の一部供用開始、4の1地区で通水。●町第2体育館がオープン。
平成 7年	●ふるさと館JRYがオープン。
平成 8年	●開基100年記念式典が挙行される。●中湧別橋完成。●中湧別分遺所新築完成。
平成 9年	●ペットボトルの分別回収始まる。
平成10年	●上湧別町土地改良区解散。●カナダ・アルバータ州ホワイトコート町と友好都市提携を結ぶ。●台風5号等による被害発生。●温泉湧出(1,635m/38.3℃)。
平成11年	●上湧別町、遠軽町の両農協が合併し「JAえんゆう」が発足。●新両湧別町学校給食センター完成。●遠軽地区広域組合リサイクルセンターがオープン。
平成12年	●記録的な大雪による被害。●国営・道営かんがい排水事業竣工。●中湧別保育所・子育て相談センター・なかよし児童館オープン。●百年記念公園完成。

平成14年	●下水道供用開始。●第4期総合計画スタート。●温泉入浴施設「チューリップの湯」オープン。●一般ゴミの分別収集開始。
平成15年	●ゴミ処理が有料化。●佐呂間町、上湧別町、湧別町合併検討会設立。●町制施行50周年式典開催される。●中山町、新篠津村との友好都市提携が結ばれる。●佐呂間町、上湧別町、湧別町合併協議会設置。
平成16年	●100年に一度といわれる記録的な暴風雪に見舞われる。●上湧別中学校新校舎完成。●5森林組合が合併し遠軽地区森林組合発足。●「屯田兵村と兵屋」が北海道遺産に認定される。●遠軽地区4町村との合併協議会設置についての住民投票が実施され過半数の賛成がなく手続きは終了。
平成17年	●佐呂間町、上湧別町、湧別町合併協議会廃止。●第7代町長に原田雅美氏当選。
平成18年	●えんゆう農協と丸瀬布、生田原農協が合併し新「えんゆう農協」が発足。●低気圧による記録的な暴風雨災害による住民避難、導水管破損による断水。
平成19年	●厚生病院が無床診療所「上湧別厚生医院」になる。●上湧別消防100年記念式典開催。
平成20年	●両湧別町合併検討会を設置。●公共施設有料化。●両湧別町合併協議会設置。
平成21年	●ゆうゆう厚生クリニック移転新築オープン。●両湧別町合併協定調印。●閉町、湧別町と合併し新「湧別町」となる。

明治・大正の記憶そのままに

北限のリンゴ

明治20年、徳弘正輝がリンゴ栽培の試作を始め、その後南兵村にリンゴの苗木が植えられました。戦前戦後を通じて町の代表的な特産品として、最盛期には240haで栽培されていました。今も「北限のリンゴ」として栽培され伝承されています。



レンガの建造物

湧別の煉瓦製造は、大正7年、藤島倉蔵の「中湧別煉瓦工場」の創立により始まります。現在は「興セラミックス株式会社」が製造を引き継いでいます。その興セラミックス株式会社の煉瓦煙突を国道242号線の中湧別市街入り口付近右側に見ることができます。湧別町には現在もサイロや牛舎、工場、倉庫など煉瓦の建造物が残されています。



「上湧別町史」より抜粋



明治31年頃 北湧尋常高等小学校



大正7年 名寄線鉄橋建設工事